



岸間 千夏さん (14歳・緑ヶ丘)

- 好きなこと
運動すること
将来の夢
学校の先生
今一番してみたいこと
留学したい
みんなに伝えたいこと
勉強頑張ります

菊陽人
りさーち



掲載を希望する人は、はがきか電子メールに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(屋間)」を明記し、〒869-1192 菊陽町役場総合政策課 sogoseisaku@town.kikuyo.lg.jp までお送りください。



菊池 なるや 登陽さん (12歳・南花立)

- 特技
長距離走
夢
プロ野球選手
今一番行きたいところ
甲子園
お父さん、お母さんに伝えたいこと
育ててくれてありがとう

人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.74】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎(232)2113

※作者の学年は前年度の在籍学年です。
◇印からの文章は、先生のコメントです。

ぼくは自分をふりかえって、クラスの友達をペランダにとじこめていたことは、自分が差別をしていた側だったと思いました。なぜかという、何人かで一人のことを理由もないのに、悪口を言ったり、その人の物をかってに取ったり、いやなことをするのが差別だと思っからです。
その友達の行動がおもしろくて、自分より下に見ていたところがありました。そして、友達がどんな気持ちなのかも考えずに、ただただ楽しんで、自分がよければそれでいいと思っていたから、ぼくは差別をしていた側だと思いました。
差別をする方は楽しいかもしれないけど、差別をされる方は心の中は「何で、どうして」と困っていて、心に傷を負うことがあります。実際にその友達の訴え



▲友達

身の回りの差別
菊陽西小学校 4年
村上 琉恩

を聞いて「何で、どうして」と思っていたことが分かりました。
差別をしている間は、楽しいだけじゃなくて、へんな気持ちがあり、自分をコントロールできていないのが差別の原因だとぼくは思っています。なぜかという、ぼくが友達をとじこめていたとき、「いけない」と少し思っていたけれど、結局、へんな気持ちをおさえきれずやっただ、思っているからです。へんな気持ちというのは、人を傷つけて自分が楽しくなることです。
自分だけではなく、同じようにしていた人たちも、ぼくと同じような気持ちがあったと思います。だから、もっと自分をコントロールできる力をつけて自分がまちがっていることに気がつけるようにして、自分がする差別をなくせるようにしたいです。
差別をなくすためには、みんなが冷静に考えを持ち、正しいことを選んで行動をとることによって、ぼくは、差別がどんどんなくなっていくんだと思います。自分だけが差別をなくしても、まだまだ差別はあるから、呼びかけて、小さなじめでも「だめだよ」と言って、差別をどんどんへらして、いやな気持ちをする人がへるようになっていきたいです。
◇自分をコントロールする力、正しいことを選ぶ行動力、差別をなくすためにみんなで身に付けていくことをしっかり考えていますね。



▲仲良し



▲お家のお掃除したよ

おてっただいするよ
みどり園 大塚亜華莉 6歳

ママといっしょにおうちの掃除したよ。
ママといっしょに。たのの上と下にひよこさんをおいたよ。おふんにはリボンがついているんだよ。ママが「てっただい」って言うたらおてっただいするよ。おようふくたむのてっただいよ。おじいちゃんのおまはまんなかにとまってるよ。そとはじりがいっばいだよ。
◇亜華莉ちゃんは、家族のみんなが大好き。休み明けには家での出来事をよく話してくれます。最近はお母さんと料理したことがあったようです。

菊陽句会報

きくよう文芸

Table with 2 columns: Poem text and Author name. Includes poems like '内緒にて後つけ今日から一年生' by 財津 早雪 and 'つめ襟に希望ふくらむ春うらら' by 原野レイ子.

短歌会

類染めて少年達は駆けて行く寒さを知らず疲れも知らず
一瞬の風に煽られ次々と螺旋の杭は飛んで抜け落ち
それぞれの友には病を持ちつつも命の果てもしらず語り
戦に敗れし国を憂いつつ励みし人ら口つぐみ逝く
花散らす風雨の後の通り道さき子らの足跡のあり
吾子たちがひとつになりて演じきる龍の泪に教えられたり
吹く風に動く麦の穂楚々として土手の刈り草焼く煙たつ
元氣よく清らに響く歌声よ一年生を迎へし子らの